

改革・改善サイクルに係る対応方針

政策企画部

所管課	グループ	事務事業名	評価員コメント	今後の方向性	具体的な取り組み内容	改善目標	備考
人権政策室	啓発事業	平和に関する啓発事業	・現状を踏まえ、平和について誰に何を発信するか、事業内容を再考しては？	現状のまま継続	戦争体験者が減少する中、戦争の悲惨さや平和の尊さを受け継ぐことの重要性を鑑み、若い世代に伝えていけるような事業実施がますます必要になると考える。現在実施している「平和の燈火(あかり)」では大学生を中心とした実行委員会形式で実施し、小中学生によるキャンドルカップへの平和メッセージの記入という形で若い世代への啓発に努めているが、今後も周知PRに努め、参加者数の増加を図るためより効果的に啓発できる事業内容を検討していく。		
人権政策室	啓発事業	人権啓発事業	・「人権」にかかわる課題は年々多様化しており、関係他部局とも連携をとり事業内容を検討しては。	現状のまま継続	人権相談のワンストップ窓口であるNPO法人枚方人権まちづくり協会は、多様化する人権課題をいち早く察知し対応している機関であるため、最も確で迅速な啓発事業の実施が可能である。連続講座「生きること」のように、すでに同協会をはじめ他部署と連携をとり実施している事業を含め、今後より効果的・効率的に啓発できる事業内容を検討していく。		

所管課	グループ	事務事業名	評価員コメント	今後の方向性	具体的な取り組み内容	改善目標	備考
人権政策室	啓発事業	ウィルフェスタ開催事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改善に向けた取り組みは評価。女性を取り巻く制度や社会環境は変化しており、他部局と広範に連携を図るべき。</li> <li>・男女共同参画の啓発は一定の成果が上がってきている中で、事業名としては、今後の時代の要請に古い印象を与える。むしろ市民全体の参画に力点の置かれた事業になっていくべき。所管課の改善に対する意識は高いが具体的な改善策の検討を早急に期待したい。両事業の統合は十分に可能と思われる。</li> <li>・今後、関心のない人をどのように参加誘導するかが重要な課題である。</li> </ul>	改善	ウィル・フェスタと男女共同参画社会づくり支援講座を統合し、市民参画型啓発事業とし、市民自らが男女共同参画を発信できるイベントとして充実を図る。	NPOや市民グループなどのアイデアを活かし、新たな層の市民が関心を持ち、参加できるイベントにする。	二次点検・評価対象事業
人権政策室	啓発事業（所）	男女共同参画啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改善方向は了解。ただし、労働・教育・企業との連携など女性活用の積極姿勢を市民にアピールできるよう名称変更、啓発内容、委託の是非について検討すべき。</li> <li>・男女共同参画の啓発は一定の成果が上がってきている中で、事業名としては、今後の時代の要請に古い印象を与える。むしろ市民全体の参画に力点の置かれた事業になっていくべき。所管課の改善に対する意識は高いが具体的な改善策の検討を早急に期待したい。両事業の統合は十分に可能と思われる。</li> <li>・「ウィルフェスタ開催事業」と同様、イベントに参加するのは関心の高い人であり、そうでない人の啓発が課題である。その意味で、教育委員会との協力関係による小中学校への出前講座は有力な方策であるので、継続・発展を図ってほしい。</li> </ul>	改善	平成28年度を始期とする第3次枚方市男女共同参画計画に基づき、教育委員会と連携して、子どもの頃からの男女共同参画の推進を図るとともに、国や府の事業の活用や、他部署との協力により、目的と対象を明確にした事業を行う。	目的と対象を明確にした事業の実施。	二次点検・評価対象事業